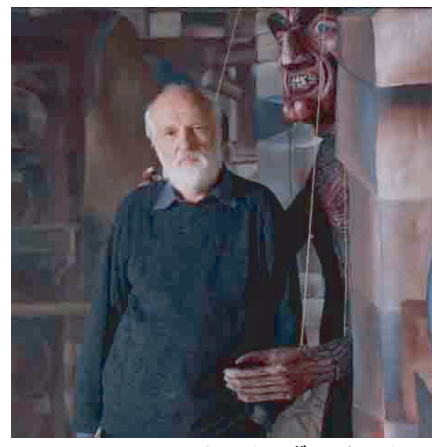


シュヴァンクマイエル展

幻想の古都プラハから

GAUDIA : EVAŠVANKMAJERJAN

会 期：2005年9月10日(土)～11月6日(日)
休 館 日：9月12日(月)/20日(火)/26日(月)、
10月3日(月)/11日(火)/17日(月)/24日(月)/31日(月)、
11月4日(金) *休館日が不規則ですのでご注意ください。
開館時間：午前9時30分～午後5時 [入場は午後4時30分まで]
観 覧 料：一般1000(900)円 20歳未満・学生850(750)円
65歳以上500円
()内は20名以上の団体料金です。
高校生以下の方、障害者の方は無料です。
会 場：神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800



1. ヤン・シュヴァンクマイエル

主催：神奈川県立近代美術館
後援：チェコ共和国大使館、日本チェコ協会
協力：株式会社アンダーカバー、日本通運株式会社、アタノル・フィルムスタジオ、
レン コーポレーション、チェスキー・ケー
企画協力：株式会社イデッフ

日本では今日、ロシアを含む旧東欧のアニメーションがブームとなっています。ヨーロッパの中央に位置するチェコ共和国を代表する映像作家ヤン・シュヴァンクマイエル(1934-)も、その一翼を担い、また近年では短編フィルムのほかアニメーションの要素を採り入れた『アリス』(1987)や『ファウスト』(1994)などの長編映画でも国際的に高い評価を得ています。

しかし、シュヴァンクマイエルの創作は、映像に限られたものではありません。ルドルフ二世の幻想的な肖像画を描いた画家アルチンボルド(1527頃-93)が活躍した魔術的な古都プラハを背景に、第二次世界大戦前にはカレル・タイゲ(1900-51)を中心としたチェコ・アヴァンギャルド芸術の伝統を戦後に引き継いで、1950年代後半のスターリン主義の時代、1970、80年代の「正常化」の時代という政治的抑圧の下、1970年代の一時期には映像の制作から離れることを余儀なくされながらも、妻のエヴァ・シュヴァンクマイエロヴァー(1940-)と共にシュルレアリストとしての活動を実践、維持してきたのです。

本展覧会では絵画やオブジェなどの造形作品約150点に、映像、シュルレアリスムの実験、写真などの資料を交えながら、シュヴァンクマイエル夫妻の「造形」と「映像」の世界を紹介します。『ファウスト』で使われた人形、『悦楽共犯者』(1996)の自慰機械、『オテサーネク』(2000)の木偶人形、現在製作中の新作映画『狂気』(仮題・2005秋公開予定)で使われているオブジェなどが展示されるほか、制作風景などの写真も公開されます。

また、併設の講堂では本展覧会に合わせて「シュヴァンクマイエル映画祭 in HAYAMA」(9月23日から10月30日までの土曜日、日曜日、祝日、計14日)を開催し、シュヴァンクマイエルの魔術的な世界をすべてお見せします。

◇ギャラリートーク 9月18日(日)、10月26日(水) 午後2時から

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2005r_svank.pdf

お問い合わせ先
神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968 広報担当：忌部 展覧会担当：翔山
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>



2.



3.



4.



5.



6.

参考図版
1. 映画『ファウスト』の舞台装置に立つヤン・シュヴァンクマイエル photo by Vasil Stanko
2. ヤン・シュヴァンクマイエル 『シュヴァンクマイヤー百科事典』より「動物学」と「植物学」《鳥の頭》1972-73年 photo by Vasil Stanko
3. ヤン・シュヴァンクマイエル 『博物誌』のファイルⅡ 1973年 photo by Vasil Stanko
4. ヤン・シュヴァンクマイエル 《自慰機械》(映画『悦楽共犯者』に用いられたオブジェ) 1996年 photo by Vasil Stanko
5. ヤン・シュヴァンクマイエル 『博物誌』のキャビネットⅢ 1973年 写真提供 アタノル・フィルムスタジオ
6. エヴァ・シュヴァンクマイエロヴァー 《ヴェノウシュの誕生》1968年 写真提供 アタノル・フィルムスタジオ

シュヴァンクマイエル映画祭 in HAYAMA

Švankmajer Film Festival in HAYAMA

神奈川県立近代美術館 葉山での「シュヴァンクマイエル展」(2005年9月10日～11月6日)に合わせて、「シュヴァンクマイエル映画祭 in HAYAMA」を開催します。

日 時：9月23日(祝・金)から10月30日(日)までの土曜日、日曜日、祝日、計14日
各日、3プログラムDVDによる上映
(開始時間11:00、13:00、15:00、各プログラム完全入替え制)
会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
TEL：046-875-2800(代)
主 催：神奈川県立近代美術館、株式会社イデッフ
配 給：レン コーポレーション、チェスキー・ケー

チケットは1プログラム1000円(自由席、当日券のみ、各プログラム完全入替え制)
「シュヴァンクマイエル展」の半券を提示された方は700円で入場できます。

上映プログラムは下記の通りです。

	11:00～	13:00～	15:00～
9月23日(祝・金)	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
9月24日(土)	Dプログラム	Aプログラム	Eプログラム
9月25日(日)	Bプログラム	Cプログラム	Dプログラム
10月1日(土)	Aプログラム	Bプログラム	Eプログラム
10月2日(日)	Cプログラム	Dプログラム	Eプログラム
10月8日(土)	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
10月9日(日)	Dプログラム	Aプログラム	Eプログラム
10月10日(祝・月)	Bプログラム	Cプログラム	Dプログラム
10月15日(土)	Aプログラム	Bプログラム	Eプログラム
10月16日(日)	Cプログラム	Dプログラム	Eプログラム
10月22日(土)	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
10月23日(日)	Dプログラム	Aプログラム	Eプログラム
10月29日(土)	Bプログラム	Cプログラム	Dプログラム
10月30日(日)	Aプログラム	Bプログラム	Eプログラム

お問合せ先
・神奈川県立近代美術館 葉山 担当：翔山 tel:046-875-2915 (学芸直通)
・株式会社イデッフ tel:03-5367-3779

シュヴァンクマイエル映画祭 プログラム内容

Aプログラム ― 短篇集1 (計90分)
『自然の歴史(組曲)』『部屋』
『対話の可能性』『地下室の怪』
『陥し穴と振り子』『男のゲーム』
『セルフポートレート』
『闇・光・闇』

Bプログラム ― 短篇集2 (計91分)
『シュヴァルツェヴァルト氏と
エドガル氏の最後のトリック』
『J.S.バッハ―G線上の幻想』
『庭園』『家での静かな一週間』
『ジャバウォッキー』
『オトランドの城』

Cプログラム ― 短篇集3 (計89分)
『棺の家』『エトセトラ』
『ドン・ファン』『コストニツェ』
『レオナルドの日記』
『アッシャー家の崩壊』

Dプログラム ― 『悦楽共犯者』(83分)

Eプログラム ― 『オテサーネク』(127分)



映像提供：1. チェスキー・ケー/2.3.4.5. レン コーポレーション

